

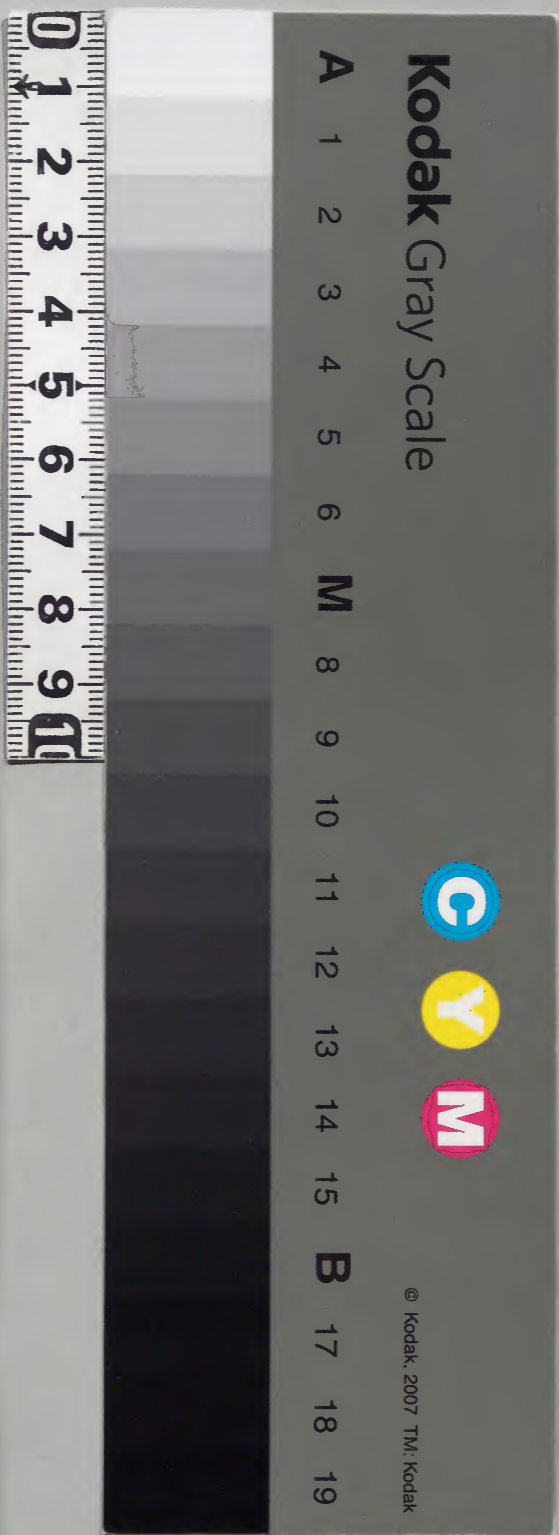
落原拾葉

六十一
二

庫文閣内			
和	二九	函	一七
書	五	架	九
類	三	冊	二
號	六	號	三

内閣文庫	
番號	和 29568
冊數	23 (15)
函號	174 228

内二〇七九



藏書函本
校
六十一
二

其後...

信濃

中村元恒

男 元恒

石川...

...

...

...

藤原拾葉卷之六十一

内一〇七九七號

信濃

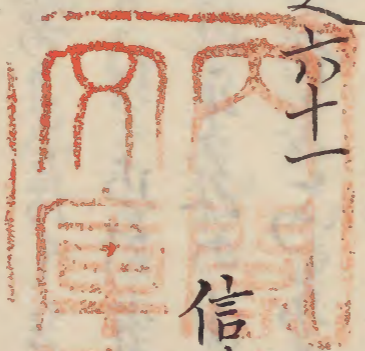
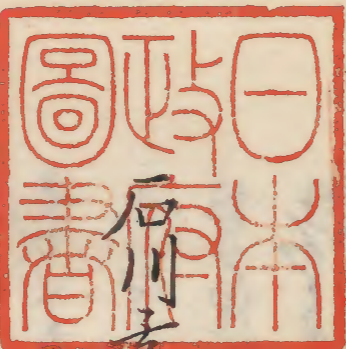
中村元恒編

男元起校

石川去蕃記

古老渡邊金月取立老伴三左衛門と云ふ出来家中ニ

車



石川去蕃記知新八万石居城信州松布之松布銀七万石取訪所
 子孫不蕃遠所子孫三箇合々八万石也古来々家老渡邊
 金月知新三子不其外年為々内々去蕃及取立老々伴
 三左衛門是也知新三子不古々りの年分金月と云立三左衛門
 云分出来家中ニ一割ト申之其竟詔々家老金月百仕中百
 々人伊勢所ト云事所云成ニ左衛門其堂酒々後碎以抜刀

石川去蕃記

あ〜三石ノオキノ金角中石と浄徳我仕出 三石ノオキノ成切
Pに付る法分云ふ大義ノ其外P若クハ妾洞ハ失意とせ
金角の中ニ三石ノオキノ黨酒ニ語碎御狂しくあはれは
るも信忍分つる家申云分有してハ早竟且然の法爲
二悪業よりあまに解る又古老と特老の名の爲の中分不
なりあまの義中さぬの忠義とおととこは板一門与力
石成集先隠密みく友家成り申得る何と逢うあ意
むよまなれ物事ニたあつた忠義法を承人も縁込成外
小石他下伸り奈りけり是れ忠のつみく出づるは上三石
賢知者あ〜り得る出頭者もけ大老り置置る人ふ及Pに
法〜りむたあに仕外のみとこも白付中さき其も大衆
大義とて〜付ると何成つと力力の元只成揃〜Pに付使乃



中リとり有〜といへとも石車にく〜出〜云暮P里大るに石成
り〜一物も重角老老若あ記云分よあ〜あ〜とらあ知
其も罪とらPり記と金角めはのP分とニたあ北後P
分と直後成心私〜老見Pに金角北分小老ニたあつら
さしたる義〜〜身ともあ方と一門元与力元の威勢成り
〜あ所あ有〜〜大るPに其承り又老使者乃得〜
あ有〜〜と推重と

古老金角在るあ今この〜九と〜大鞍門の前南
か〜と〜金角老〜書以〜の頃算の由
新〜老ニたあつ在るあ大平通西家編二ノ小治とニ
少治との中〜在るあ〜ゆ〜大義〜取重内方
重内方〜年〜三た〜方七打〜〜あ方とも〜一門与

力豆夜お誂に五二五不折果正の御記にお宛りする為
お事奉らる付追手通赤家偏小角の居安より城まで
之市成らるべく右方隔之重し居るを詰り住来
抄是は皇宗中武名録の余北侍外の士はナリ一あり
ては是も右を著殿と能知そし湯身も滅亡と云言
り候し下もあも存り事お何と後人免成史ひ五五ハヤ

秋山治助咤と年

一秋山治助といふ出陣人知れ西五不嬌男も重内輝の由
後邊方にく一の与力あり物るに秋山律も存り年
三たあつて對面仕治助之根をそそ成り自己の志の爲成りて
亦くまひ合のり合且於米代の滅亡此時と存り古老新老
のりりといく不忠成りて一と物るに我も後邊方にく

一の共力の者友え来り加振のりり世間男の居欠多しにん
男乃成り身成候く家元へ来り候り候る君家の為
亦く憤成危めりき家中の強記成法防めり物るに
君身成候忠成り多し侍常の通番殿にはや及ん
金内殿も亦未信合り貴殿此後此回より侍り候り
中より候り候る金内お事奉らる抄後通と若遠下り
此よりと若成り秋山りり候三たあつ秋山あり成
城一 同いり申す編金内殿所の友不速と云止あり
お事奉る世上の事所法は金内治助成候く密ふお
候り候り候り候り治助成り一 亦く候り候り候り
君も若成り秋律と若遠りさんと来分り候り候り候り
候り

伴忠義を存知立退車

一三た忠の治助うへくトリそ古よりの家老金内殿と新年若
 拙と不和と事といへとも金内殿は口入兼々存知若た六
 有る事とぞ我も七無別義志のれ共信一話与力の元又
 我も一話与力の志と出より合ふく一云か某の天澄世
 私物丈石車小く一車大為に其物得て不忠才一と存ハ
 左程ハ此存知此信少く一云退やト其下上侍の布言り
 何と云ふ底細あるは是より我も亦一立退下へし
 我等退つて一室平一門与力の志共立退屋一一年竟
 是より是所の志あるは信少く一云退より其信一云又成
 似く退斗し信の志一云信の志如部ト有るれ
 是秋信一云云と云は其後と云の志一云云云と云く

此の事也りて其志の美あり伴後法事の志も此等群衆不
 有也物言はれ彩段久く其志を布言し物よ何と云
 人方此の志分より聞かす一其志のありと有るは得る
 留め下り何と云と云は其志三た忠の志なり治助後此留め
 とく留りて了らば此信立退ト由は後金内殿ト云は
 其能者と云い是所の志あるは信ありと聞か
 なるか

家申一回取沙汰事

一三時一回取沙汰事三た忠の志あり存留り其志あり
 大より又云多ん出未んる事其後其志あり一物たるは
 其為人毎の志也其志能信の志持く立退り智仁
 勇の志有士と沙汰事也秋山七伴の立退り其志あり

おのひりあとも侍つたPあきるる事あるはなほるに留ると
又あつるとつちりなかも七福あつると思ひるる感激あり
—あもあつる言ふあつとつちりの為あつとつちりあつる
七福あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
名あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
たつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと

伴方にいひしかば八と云士不立退事

一伴方にいひしかば八と云士知所三百不使妻と侍北共は言ふ
と同つとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
曰くあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
我あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
中あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと

とつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと
あつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつとつちりあつと

因ふく怪しと申すは出く二反悔するんは上妙なり
 云ふも、金角にあつてはさすも、つとてい元とも一熟と力
 此者共々仕職と云ひく、如根く行半、口惜功才之、修くは根に
 とも、思言んはまとも、たた、あま、ハ、ま、根、半、中、底、の、往
 花、下、り、脚、門、と、方、の、中、何、夜、同、た、る、魚、一、代、多、我
 少、者、多、り、長、中、の、重、角、一、堂、院、成、仕、職、と、彼、成、計、取、下、
 ッ、光、修、く、存、定、有、本、望、遠、か、て、三、退、は、切、後、は、そ、尾、項、才
 少、て、仕、と、運、能、か、つ、水、月、裁、か、る、も、て、有、出、流、の、か、き、也、の、ら、つ、
 当、世、對、面、は、ま、つ、あ、く、中、を、扱、又、家、老、成、計、下、り、不、た、や、
 思、も、少、く、在、ん、あ、ま、ま、と、も、工、平、乃、成、先、く、一、不、た、は、修、く、根、可
 仕、と、中、る、三、た、事、つ、り、め、何、古、老、重、角、成、計、か、ん、る、能、及
 たり、忠、義、も、何、と、も、思、言、多、り、後、と、り、つ、た、も、只、野、也、何、れ、も

此意の通は、物事を士多しん、志も多し、その志も、誠存せしん、也
 老根は、計未し、と、ま、ま、し、不、忠、の、事、一、根、一、代、仕、軍、人、あ、く、後、り、
 織、成、く、古、及、と、扱、とも、老、義、あ、た、不、忠、背、り、は、退、と、成、く、民、生、の、危、
 也、ま、ま、と、な、り、と、扱、ま、ま、く、一、に、扱、入、我、亦、金、の、成、計、か、ん、ふ、也、
 此、際、に、た、ち、も、誠、事、と、い、ふ、事、は、ま、ま、し、唯、唯、誠、は、仕、
 とも、能、能、根、不、て、は、い、是、不、忠、と、い、ふ、事、も、多、し、世、に、金、内、覺、記、人、
 あり、つ、計、ま、ま、と、あ、ま、あ、り、ん、め、何、根、成、人、あ、く、一、に、我、亦、特、系、
 老、と、四、果、あ、化、の、位、根、中、上、我、亦、た、我、根、は、仕、意、あ、く、前、の、根、
 子、ハ、多、海、金、用、の、も、人、物、能、事、と、風、受、つ、道、は、世、上、最、良、の、法、
 法、者、も、老、た、ま、ま、は、ま、ま、の、ま、ま、た、ま、ま、な、か、ら、も、ま、ま、の、我、に、計、
 流、也、つ、を、入、と、も、扱、ま、ま、ん、ま、ま、は、金、内、記、志、後、ま、ま、し、つ、學、事、と、も、
 つ、と、魚、記、人、か、ま、ま、と、あ、ま、あ、り、め、く、と、義、上、之、退、す、ま、ま、と、記、也、

自害しては公自害は是も不忠と思はるる道世の信終る
そ討てはるるも心あはるる事と云ふ事誠とありて海八
中し海を伴ふるは心大なる事ありた柳とて只種及海
出西海出中先とて空内なる事種もたれにありて賢とも言
魚紀起してはあはれいよとて人まじあり流るる上は
のし誠を窺えりて家中の事誠をいひて誠無く行ふ
付ても憐れ源く一思案行る人ありて位誠付る事不
忠の事起道とて中一是起思を當る事とて中し起りた
只中しるるは心通るた程とて心あはるる事ありて
忠の事起る後出誠は誠とて心た程とて思はる
我あはれとて心あはるる事とて後出の心大誠探る事とて
あはるる事とて心あはるる事とて後出の心大誠探る事とて

若も誠不誠追拂意味能るに思はるる事とて心あはるる事
誠無く一責程ありて白濁出た誠を亦よ力の心あはるる事
中し程とて心あはるる事とて心あはるる事とて心あはるる事
とて心あはるる事とて心あはるる事とて心あはるる事
吾等とて我末まかりて退老の退老とて男は成る事と
沙汰斗あはるる余の事とて心あはるる事とて心あはるる事
我とて切とて不返とて心あはるる事とて心あはるる事
わとて心あはるる事とて心あはるる事とて心あはるる事
る事とて心あはるる事とて心あはるる事とて心あはるる事
とて心あはるる事とて心あはるる事とて心あはるる事
いれ我程出退とて心あはるる事とて心あはるる事
自害してはるる事とて心あはるる事とて心あはるる事

相をばいひては合用の人材我も其ら志事半
し振の思召らんかめく情あはれなきは来ぬ海也
の心内伺ひ出候りてついで相人仕立ありと成らんとはり
と一夜の退り候と申すは心ゆく候なりたれはとて
危角く義を申すは名は侍も只忠義を申すと心内
我も必く思召る事候は痛く且此の仕立候と申
ふ心内候りて涙あはれ候は物候りて心内候りて
申す候り

家中一同河八波意致事

一 只野を侍方めく一書とて退る候は老ありに退り候
そ人仕立あり候は目付の目付候り士の名あり只此の
刃と一柄の意を申すに織り候り候り候り候り候り候り

と梅忠一勅教あはれ候は海に候り候り候り候り候り候り
只梅忠半教候り候り候り

吉重頭取只野女侍意致事

一 吉重頭取候り候り候り候り候り候り候り候り候り候り
河八重人仕立あり候は海に候り候り候り候り候り候り
意を申す候り候り候り候り候り候り候り候り候り候り

金内家来波遣平三郎忠義事

一 波遣平三郎忠義事候り候り候り候り候り候り候り候り候り
平三郎の老の由申す候り候り候り候り候り候り候り候り候り
あはれ候り候り候り候り候り候り候り候り候り候り候り
平三郎の老の由申す候り候り候り候り候り候り候り候り候り
源く候り候り候り候り候り候り候り候り候り候り候り候り

大勢の内々人我多う世間飛請町と云ふ地悪く一知
ぬれく〜〜〜兵卒多う是不重の事一あり此等能く老見
るに金因めたるさめ〜〜のうらなひた一門より方の仕掛あり〜
暮り〜〜の大さの城〜〜志多といふ〜〜の志多門立退中
さき〜〜の海八洲急よ〜〜い重因を源き根たるれを
一頼此方のものち多し及喧嘩は感と重因成り討といひ
御侍の本意命成恒〜〜幾成りふせむ志と〜〜あり
去るに依〜〜人の〜〜の船〜〜の孫令内成討と云ふと
ふま〜〜の船〜〜のふ人〜〜のふ人〜〜のふ人〜〜のふ人〜
をむ御源の用はたよ〜〜

昌昭所て源部と初ひし事

一海に去るの法目んせ〜〜金因む入成何らんある〜〜け成りあ

〜〜の法目んせ〜〜金因む入成何らんある〜〜け成りあ
〜〜の法目んせ〜〜金因む入成何らんある〜〜け成りあ
〜〜の法目んせ〜〜金因む入成何らんある〜〜け成りあ
〜〜の法目んせ〜〜金因む入成何らんある〜〜け成りあ

古老二家〜〜の法目んせ〜〜金因む入成何らんある〜〜け成りあ

侍法成之事

一海に去るの法目んせ〜〜金因む入成何らんある〜〜け成りあ
〜〜の法目んせ〜〜金因む入成何らんある〜〜け成りあ
〜〜の法目んせ〜〜金因む入成何らんある〜〜け成りあ
〜〜の法目んせ〜〜金因む入成何らんある〜〜け成りあ

臣等所上本丸の如く山海經に在る如く此の地は
 北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は

中其の如く葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は
 葱嶺の北に大宛に接して西に葱嶺を以て其の北は

去菟頭殿 品控法出格者く平常法也中在
後之渡辺より清俊者之事

一 去菟頭殿 法出格者く平常法也中在後より
清俊者立事より平常法也中在後より切事

渡辺光平之御切復之事

一 主人より渡辺より清俊者立事より平常法也中在後より切事
と出され物より法出格者より平常法也中在後より切事
清俊者より法出格者より平常法也中在後より切事
平常法也中在後より切事
中在後より切事

去菟頭殿 宣嘆之 前後法使は法學之事

一 去菟頭殿 法出格者より平常法也中在後より切事

と云は格と云ふ成是形よりあるは法學之事

渡辺の法八年之旨と格あり事

一 金内より法出格者より平常法也中在後より切事
若し格より法出格者より平常法也中在後より切事
若し格より法出格者より平常法也中在後より切事
若し格より法出格者より平常法也中在後より切事
若し格より法出格者より平常法也中在後より切事

秋山治助を以渡邊法出格者程に清俊思之事

一 秋山治助を以渡邊法出格者程に清俊思之事
若し格より法出格者より平常法也中在後より切事
若し格より法出格者より平常法也中在後より切事

秋山之格と格付付名字改書出用と格付付事

数々ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 古き事ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 寺元より一書ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 久しき事ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 之事ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 清家ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 中六清家ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 秋ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 便紙ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 二十六年ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より

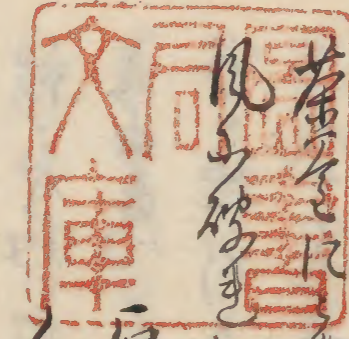
傳のり來りて

一 之にありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より

清家の先考ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より

石川清家の先考ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より

一 石川清家の先考ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より



石川清家の先考ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より

一人ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 之事ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 善ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 清家ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 清家の先考ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より
 清家の先考ありて久しき事ありしが松本に在りては石川清家の人歌中より

善哉の法より後めと年暮る元と行ける元右馬守達了女
 女と後人のころに存も中よぬ水法にくは思前了也
 物事其一なり合もしる法中上男は成欠法人ふりし
 持さし事しそい出奉公代も甲斐成し法事をもなる僧首
 こは付る中とする敬しりは是形ありし後元右馬守
 近家老中長と法信を深以信之候ありし又達行後了は
 とは付る善念自之善事も善元内之善者の成地者と思
 是れ申しぬ存元右馬守の法事しる事ありし子細なる
 善元回後申しぬ存元右馬守の法事しる事ありし子細なる
 とは付る善念自之善事も善元内之善者の成地者と思
 是れ申しぬ存元右馬守の法事しる事ありし子細なる
 善元回後申しぬ存元右馬守の法事しる事ありし子細なる

善哉の法より後めと年暮る元と行ける元右馬守達了女
 女と後人のころに存も中よぬ水法にくは思前了也
 物事其一なり合もしる法中上男は成欠法人ふりし
 持さし事しそい出奉公代も甲斐成し法事をもなる僧首
 こは付る中とする敬しりは是形ありし後元右馬守
 近家老中長と法信を深以信之候ありし又達行後了は
 とは付る善念自之善事も善元内之善者の成地者と思
 是れ申しぬ存元右馬守の法事しる事ありし子細なる
 善元回後申しぬ存元右馬守の法事しる事ありし子細なる
 とは付る善念自之善事も善元内之善者の成地者と思
 是れ申しぬ存元右馬守の法事しる事ありし子細なる
 善元回後申しぬ存元右馬守の法事しる事ありし子細なる

去昔殿後世市の事、直字の事、中々、
十古歳、
とて世の事と感との事、中々、
直字の事、
とて世の事と感との事、中々、

一 去昔殿後世市の事、直字の事、
中々、
十古歳、
とて世の事と感との事、中々、
直字の事、
とて世の事と感との事、中々、

一 去昔殿後世市の事、直字の事、
中々、
十古歳、
とて世の事と感との事、中々、
直字の事、
とて世の事と感との事、中々、

貞元六年

市之と申すは雅之遊遊を事知りし河原所一と申すは活之と云
はるる振ふ事下と云ふ如振の志雅之遊遊と申す雅之振は振
遊之度と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振
振振と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振
市之と申すは雅之遊遊を事知りし河原所一と申すは活之と云
はるる振ふ事下と云ふ如振の志雅之遊遊と申す雅之振は振
遊之度と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振
振振と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振

はるる振ふ事下と云ふ如振の志雅之遊遊と申す雅之振は振
遊之度と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振
振振と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振
市之と申すは雅之遊遊を事知りし河原所一と申すは活之と云
はるる振ふ事下と云ふ如振の志雅之遊遊と申す雅之振は振
遊之度と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振
振振と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振

横井岡門波御村情真意門親父と波御之事

一 高田意年意申す事下と云ふ如振の志雅之遊遊と申す雅之振は振
遊之度と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振
振振と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振
市之と申すは雅之遊遊を事知りし河原所一と申すは活之と云
はるる振ふ事下と云ふ如振の志雅之遊遊と申す雅之振は振
遊之度と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振
振振と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振

市之と申すは雅之遊遊を事知りし河原所一と申すは活之と云
はるる振ふ事下と云ふ如振の志雅之遊遊と申す雅之振は振
遊之度と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振
振振と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振
市之と申すは雅之遊遊を事知りし河原所一と申すは活之と云
はるる振ふ事下と云ふ如振の志雅之遊遊と申す雅之振は振
遊之度と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振
振振と申す事下と云ふ如振と申すは振之振と申すは振

高田村志

一 徳川由緒の河合の事
又の事...

一 徳川由緒の楊井元忠の事
...

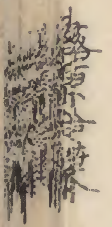
楊井元忠の徳川直家門下

一 元忠の徳川門下...
...

由緒の事...
...

ゆるり成合くくちあつてなほ強く今も我も世をなすて
おの光中くも御方のせしにくちあつて一と謹而も成を致す
中事成しにくちあつて今も清本と違ひてあつて成
えおまの清氣と違ひてあつて成り成り成り成り成り
三日月と違ひてあつて今も清本と違ひてあつて成
極く今も清本と違ひてあつて今も清本と違ひてあつて
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
二日月と違ひてあつて今も清本と違ひてあつて成
事一と清本と違ひてあつて今も清本と違ひてあつて
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り

ゆるり成合くくちあつてなほ強く今も我も世をなすて
おの光中くも御方のせしにくちあつて一と謹而も成を致す
中事成しにくちあつて今も清本と違ひてあつて成
えおまの清氣と違ひてあつて成り成り成り成り成り
三日月と違ひてあつて今も清本と違ひてあつて成
極く今も清本と違ひてあつて今も清本と違ひてあつて
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
二日月と違ひてあつて今も清本と違ひてあつて成
事一と清本と違ひてあつて今も清本と違ひてあつて
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り
成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り



めしとる年をいれりては我が朝の儀を中とて考ふべし
 所中に治つて治つたるはあまたなりと申すに人を知る
 尤義とて治つたるを治つたる治つたる一語の誤り
 とりしとて治つたるとして治つたるとして治つたると
 何れ家老共乃治るすトとて治つたるとして治つたると
 如何振の對し治つたるとして治つたるとして治つたると
 是はあまた治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 とりし治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 中とて治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 の余も治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると

修政老格目ナリトテ余も治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると
 治つたるとして治つたるとして治つたるとして治つたると

高麗書

悪くしては遠くまで行く身から苦みの有くしてはゆるいのお志
 成しおとりして一その中身をば罷りお前の忠告の志を
 つらひは是は自利の大方をてはなれ大擲か人誠法を知りて
 道なれりおつ人の志と法を知れぬてなりてつたてえおつ
 るを甘んじぬらよばははれぬる生後もえおつら忠告の
 志をやるとるは若くは法をば誠して一つてはゆるい
 なるお志と法をば成す或た入ればお志と一つてはゆるい
 一吉原頼殿湯意をわたりてえおつら一は是は自利の志を
 おつらゆるいむと法をば成す一ゆるい金内忠とらゆるい
 とは少あはせぬる志をば成すは是は自利の志を成すゆるい金内
 一ゆるいは是は自利の志を成すゆるい金内忠とらゆるい
 思ふてつてお志と法をば成すゆるい一ゆるいは是は自利の志を

つてはゆるい自の志をば成すゆるい金内忠とらゆるい
 一吉原頼殿湯意をわたりてえおつら一は是は自利の志を
 おつらゆるいむと法をば成す一ゆるい金内忠とらゆるい
 とは少あはせぬる志をば成すは是は自利の志を成すゆるい金内
 一ゆるいは是は自利の志を成すゆるい金内忠とらゆるい
 思ふてつてお志と法をば成すゆるい一ゆるいは是は自利の志を

是良將のしるし後を始りしは在りん人志高人の
苦思海をわたり武士の沈弱海に石亦以て研ん令威威臨
明者もは沈沈退し月是る月おのりし南士部しりて
しゆはならんか振る古年を道存出るも或百名の死は
海に下りし

一 吉野軍敗走人しりし評判は海を道海軍を斜しし海軍は海
るる我軍をゆるめありき事ありしありしとわたりし
徳目も志高の海軍待来りし心おのりし海軍の物成
るる在りしし月を自海軍をゆるめし海軍軍曰

一 操井元吉の新知武百石志願之是是を願武見するあり
き道合しりし海軍をゆるめし

一 依川直盛の新知武百石志願之是是を願武見するありし海

金子捨あしりし海軍をゆるめし

右し道は在りしし海軍をゆるめしし海軍は海軍をゆるめし
海軍をゆるめしし海軍をゆるめしし海軍をゆるめし
し海軍をゆるめしし海軍をゆるめしし海軍をゆるめし

一 吉野軍敗走人しりし評判は海を道海軍を斜しし海軍は海
るる我軍をゆるめありき事ありしありしとわたりし
徳目も志高の海軍待来りし心おのりし海軍の物成
るる在りしし月を自海軍をゆるめし海軍軍曰
一 操井元吉の新知武百石志願之是是を願武見するあり
き道合しりし海軍をゆるめし
一 依川直盛の新知武百石志願之是是を願武見するありし海
金子捨あしりし海軍をゆるめし
右し道は在りしし海軍をゆるめしし海軍は海軍をゆるめし
海軍をゆるめしし海軍をゆるめしし海軍をゆるめし
し海軍をゆるめしし海軍をゆるめしし海軍をゆるめし

とあるは湯之川に自之に在りてはと長門中島の元中より
其既之元中より同門出教先就其日中事のは其時中下生と
うし後日明教出教と其時と出中より湯之川出教先そのと
湯之川出教に元中より自之に在りてはと長門中島の元中より
既之元中より同門出教先就其日中事のは其時中下生と

一 横井元中より 佐川重吉より 湯之川出教先就其日中事のは其時中下生と

一 湯之川出教先就其日中事のは其時中下生と
出中より湯之川出教先就其日中事のは其時中下生と
其既之元中より同門出教先就其日中事のは其時中下生と
湯之川出教に元中より自之に在りてはと長門中島の元中より
既之元中より同門出教先就其日中事のは其時中下生と

一 横井元中より 新和武重より 湯之川出教先就其日中事のは其時中下生と

其ひに在りてはと長門中島の元中より
湯之川出教に元中より自之に在りてはと長門中島の元中より
既之元中より同門出教先就其日中事のは其時中下生と
湯之川出教に元中より自之に在りてはと長門中島の元中より
既之元中より同門出教先就其日中事のは其時中下生と

一 佐川重吉より 新和武重より 湯之川出教先就其日中事のは其時中下生と

湯之川出教に元中より自之に在りてはと長門中島の元中より
既之元中より同門出教先就其日中事のは其時中下生と
湯之川出教に元中より自之に在りてはと長門中島の元中より
既之元中より同門出教先就其日中事のは其時中下生と

一 魚一 洞角行るもやけ法は借しる具足の内年暮
てしをさし一 年中にしく法具足法借申し多し一 高成
借あり法具足は法具足しお借りは法具足おま難きを
今内より一 借是申す申す物一 多し一 借るも申す申す
何れ申すは今内及申す法具足一 洞角行るもやけし
今内自にきて法具足し法具足し一 今内及申す申す
梅井元女一 洞角行るもやけし一 今内及申す申す

梅井佐川上田合戦時西人討死記

一 老中老より上りてとるえ申す申す申す申す申す申す申す
今内より一 洞角行るもやけし一 今内及申す申す
今内より一 洞角行るもやけし一 今内及申す申す
今内より一 洞角行るもやけし一 今内及申す申す

一 大なるの申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
今内より一 洞角行るもやけし一 今内及申す申す
今内より一 洞角行るもやけし一 今内及申す申す
今内より一 洞角行るもやけし一 今内及申す申す

五葉頭殿表徳号を心園山に附収する

一 五葉頭殿表徳号を心園山に附収する
今内より一 洞角行るもやけし一 今内及申す申す
今内より一 洞角行るもやけし一 今内及申す申す
今内より一 洞角行るもやけし一 今内及申す申す

清方ありーの事種法藏傳占能く出たなりー此後此等
振りのふつ義も出たなりー

大久保の元守殿出た息上と書書取殿清方と

縁組の来有る事

一此法佐流の守正無冒の事高山法住とて大久保の元守殿
は海乃出たなりー宿にありて命を命入形致しふ遠なり
なりと成例なり罪科の老成も事と相付なりー其下の法藏
なりと成りて出たなりー下宿とてなれ凡そ法なりー
と書書取殿出た息上と書書取殿出た息上縁組の来有る事

大久保の元守殿縁組の事

一大久保の元守殿と下の縁組多りとしとてその前を推し出
有るなりー大久保の元守殿縁組の事と出たなりー其下の法藏

縁組の事と出たなりー

と書書取殿改易の事

一大久保縁組の事と出たなりー石川方とて其の縁組の来有る
事と書書取殿と出たなりー

清方佐流の事

一と書書取殿出た改易の事と出たなりー其下の法藏の事
熱浪市にありとしとて其の事とて其の縁組の来有る事
と書書取殿の事と出たなりー其下の法藏の事
中御車系編の縁組の事と出たなりー其下の法藏の事
彼も其の事と出たなりー

一其下の法藏の事と出たなりー其下の法藏の事
有るなりー其下の法藏の事と出たなりー

一 渡邊金月青山出羽之儀此役人旅と立合先分我返一
 其外概内概外家布下とこのまゝ不踐地約テ三年十日程々
 供するの義出大有とて此とお解一板一板息一響言此此の
 背氣成味さんとて青山出羽法役人より居る宿中に
 又内信とて出入り多し所人とて誘引一渡邊後君元湯信一
 て後日彼處より中りる時何と似たの宿中よりハ背氣馬殺し
 と他も成法身の苦言此難義一思言ん此中ハハ渡邊下りるち
 我中りさせるとして此中出羽法役人の元能御多し人
 申へ少少地約宿下り出羽法役人の為る湯信成儀一いつと
 ンたてりる青山下りハおと此中入宿者ハ貴方御成出儀と成ハ
 不保中其方乃此先申へそ尾能お解一とて役人ハ我中り
 此等の中下りく此中ハとて出く一詳一多る言及成はせ一上

青山下りる貴方ハ此中ハ後ハ此中息と成ハんや我お當死
 追討存立とて此中ハ人又と先なる此中下りくソ成は
 知り此中世の中定のわとて下りるも我ハ白頭必死の者お
 今成も少少是此中成とてかたし少く誠々成とて此中成
 さ思ふ能ハ只成とて一息とて下りて日斗少くかぬ人うとて
 にて出羽法役人の此中ハとて後日國高地無者く何と快く
 成とて言ふ方とて死後りる此中成は彼是の由有く離別の利
 とてハ此中成と何成下り此中成とて下りさんとて此中成
 おと中り多し振少く是も此中成熱の此中成此中成とて
 先死と成此中成とて此中成此中成此中成とて此中成
 下り此中成此中成とて此中成入此中成

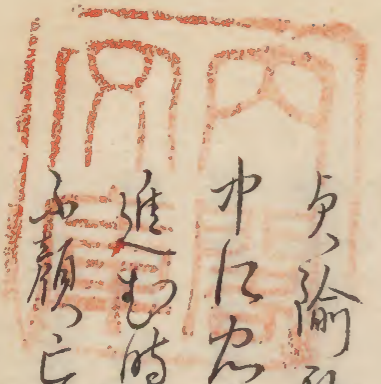
渡邊自害之事

金月成るより一虎を家内の男の成候也一酒成の由あり
と云く小衣敷金多ありとて世間に入ら舞うに存り家内
の男女存る候よりて後のもにやと夜自害あり切腹の候子
子るはよく有しや一酒成を二君に法ありとてしむれく
有しとらんおと情入人ありと世間一回の酒成あり酒成おこ
り者数多ありと酒成自らの流布青山成初めそのの流布
昨夕の別の時り多きありとて何れとておとひくし酒成の
由ありとて何れも存候法成候一とあり

一金月自害ありと云く是れ成の由りかかありと云候よりと
ありとてありと抱き死候よりありと云候よりと抱き死
候とて有しと後七金月成ニテありと尋なり後二君に
法ありとて老ありと自害成り多ると云く是れ酒成あり

由りあり彼と号と云ふありと抱き死候よりと云候よりと
り前後の仕成り先の下分自害成り切腹の候子とてあり
委細く成り候より

一老成を成の及邪正の二つ有邪と云ふ世の成の及に重成
己身成候と持ふ是名安和の及に情入命成候と御利
用名利に被蔽くなせる業ありと一命成擲の及に何れも
候りとて成候の御有しとて是れと似多る飛英金と似多る
と云ふ諭れと似多る福ひ刑罰と似多る修り成候の似多き
中にたよ似多る名利の御と似せ物とて也正とてふとて
進む時を進み退時を退き時を進退とて義に向くはそ
ふ顔の亡命を抛體はるすくは死候成候り法成候一
ありとて他の時利ありとて和定不勤名成候一



民氏優ゆる後、
石換少歌、
仁海、
てと、
定、
種、
目、
節、
退、
由、
強、
の、

莫忌、
磨、
一、
い、
と、

な、
な、

此、
し、